

# 児童福祉サービス版

## 【共通評価基準】

### I 養育支援の基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
コメント	良い点/工夫されている点： 特になし。	
	改善できる点/改善方法： 理念や基本方針等について、子どもや保護者への周知を図るため、わかりやすく説明した資料の作成が望まれるとともに、家族に「学校便り」等を送付する際、理念、基本方針が記載されたものを同封するなどし、理解が深まる取組みを期待したい。	

#### I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	① 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 苑長は、各関係機関の報告書等から社会福祉全体の情報を把握し、経営課題や経営環境の改善に取り組んでいる。また、「福井県社会的養育推進計画」等を活用して子どもの環境と経営の分析を行い、毎月の運営会議で「苑長講話」として職員に説明している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

#### I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 中・長期計画「令和3年～8年第2期家庭的養護推進計画」を策定し、定期的に見直しを行っている。また、単年度の事業計画と収支予算は、中・長期計画の内容が反映され事業計画の「生活支援」に具体的な課題として明記している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
7	② 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	b
コメント	良い点/工夫されている点： 事業計画は「事業計画等策定年間手順書」に基づき、職員会議で検討し、運営委員会で集約し策定するシステムを整備している。	
	改善できる点/改善方法： 保護者向けに「入所のしおり」、「こども権利ノート」、「生活のきまり」等の資料や冊子類を作成しているが、保護者へのアンケートを実施し、記載内容の見直しや保護者等への説明方法を見直すことを期待したい。また、子ども向けに、児童会や個別対応などの機会を通じて、丁寧な説明を行うことを期待したい。	

#### I-4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	① 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
9	② 評価結果にもとづき施設として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 前回の受審結果を基に、PDCAサイクルに基づく自己評価を実施し分析を行っている。また、改善が必要とされた項目について、職員全体で職員間で課題を共有し、協議・検討し見直しを行っている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

## II 組織の運営管理

### II-1 施設長の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 施設長の責任が明確にされている。		
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 苑長は、運営会議や全体職員会において、施設経営・管理に関する取り組みについて説明し、職員への周知に努めている。また、平常・有事の際の苑長の役割と責任、不在時の権限委任等について「運営機構」、「運営規程」、「職員職務分掌」に明記している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II-1-(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		
12	① 養育・支援の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 苑長は、子どもの尊重、人権擁護、養育・支援の質の把握と向上を図るため、全職員をグループ分けし、グループごとにテーマを決め、年4回「人権チェック」を実施している。また「里親スキルアップセミナー」をはじめとする研修や、地域との交流活動に積極的に参加し、人事、労務、財務の改善や実効性を高める体制づくりに努めている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし	

### II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
15	② 総合的な人事管理が行われている。	b
コメント	良い点/工夫されている点： 年間の研修計画を立て、各関係機関が実施する「新人、新任、中堅、上級職員研修」を受講し、職員の資質向上に取組んでいる。また、施設運営に必要な人材確保のため、臨床心理士、社会福祉士、精神保健福祉士等、有資格者を積極的に採用している。	
	改善できる点/改善方法： 「期待する職員像等」については基本理念に明記しているが、明確な人事基準の定めがないため、人事基準を定めて、総合的な人事管理の体制づくりを期待したい。	

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	b
コメント	良い点/工夫されている点： 特になし。	
	改善できる点/改善方法： 就業規則にもとづき、有給休暇の取得状況や時間外労働、メンタルケアを含めた労務管理を行っている。また、苑長との定期的な個別面談を通じて働きやすい環境づくり、魅力ある施設、相談しやすい仕組みづくりを期待したい。	

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	b
コメント	良い点/工夫されている点： 特になし。	
	改善できる点/改善方法： 職員個々の目標管理シートの策定が望まれる。また、職員研修について、定期的な評価・見直しを行い、新人や上級職員向けの職務階層別研修について検討することが望まれる。	

II-2-(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	① 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 実習生等療育、支援に関わる専門職の研修を実施し実習生等の受入に努めている。また、実習生受入のプログラムは、各専門毎の実習マニュアル、実習オリエンテーション、受け入れマニュアル、実習期間中の対応マニュアル等を整備している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

## II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。 a
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。 a
コメント	<p>良い点/工夫されている点： 理念、基本方針、ビジョンを要覧や広報紙に記載し、施設の実在意義や役割について周知している。また、税理士法人による定期的な会計監査での指導事項に対して、その改善内容についてのコメントが監査報告書に書き込まれファイルに綴られている。</p> <p>改善できる点/改善方法： 特になし。</p>

## II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。 b
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。 c
コメント	<p>良い点/工夫されている点： 特になし。</p> <p>改善できる点/改善方法： 子どもと地域との関わり方について施設の基本的な考え方を明文化することが望ましい。また、ボランティアの受け入れについて、対応マニュアルは作成しているが、事前の説明手順を明確にし、学校との協力体制を円滑にするための体制を整備するなどして、更にボランティアの受け入れ機会が増えることを期待したい。</p>

II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	
25	① 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。 b
コメント	<p>良い点/工夫されている点： 特になし。</p> <p>改善できる点/改善方法： 個々の子どもの状況に必要な社会資源をリスト化するとともに、関係機関等との連携が適切に行われることを期待したい。</p>

II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	
26	① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。 a
27	② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。 a
コメント	<p>良い点/工夫されている点： 苑長と職員は、大野市・勝山市要保護児童対策地域協議会、大野市いじめ防止対策会議、里親サロン、ヤングケアラー研修会等を通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。また、ニーズの把握の観点から、奥越地区障害者自立支援協議会、NPO法人福井ARC運営委員活動により、生活の課題を含めた事業（乳幼児健診心理士派遣、幼児・学齢期の子どもを持つ親へのCPS研修会、春日野地区防災協定の締結）等の公益的な事業に取り組んでいる。</p> <p>改善できる点/改善方法： 特になし。</p>

## III 適切な養育・支援の実施

### III-1 子ども本位の養育・支援

III-1-(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。	
28	① 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。 a
29	② 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。 b
コメント	<p>良い点/工夫されている点： 職員は毎日出勤時に倫理綱領を読み上げ、養育支援の方向性等確認を行っている。また、職員は権利擁護関係の研修への参加や定期的な自己チェックを行い子どもの尊重や基本的人権への配慮について定型的に振り返っている。</p> <p>改善できる点/改善方法： 子どものプライバシーに関する言動とその対応記録はあるが、子どもの尊重等に関する研修を実施していないため、職員に対し「福井県児童ケアガイドライン」等を活用した研修の実施が望まれる。また、児童生徒には「権利ノート」を配布しているが、保護者にプライバシー保護に関する取組を説明することが望まれる。</p>

III-1-(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	
30	① 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。 a
31	② 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。 b
32	③ 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。 a
コメント	<p>良い点/工夫されている点： 保護者等に対し、入所前の面談時に、施設での養育・支援についてわかりやすく表した「苑紹介ファイル」を用いて丁寧に説明している。</p> <p>改善できる点/改善方法： 意志決定が困難な子どもや保護者等への説明する際の配慮についてルール化がなされていないため、これを明確にし運用することが望まれる。</p>

Ⅲ-1-(3) 子どもの満足の向上に努めている。		
33	① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： ユニットごとに児童同士の話し合いの機会を設け児童の意見を把握している。また、職員会で児童からの意見を取り上げ、具体的な改善につなげているとともに、経過記録を残して、その後の対応について詳細な記録を残している。また、日常の何気ない会話の中から児童の思いをくみ取り、新たな取組を行っている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし	

Ⅲ-1-(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
35	② 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	a
36	③ 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 子どもたちが意見を言いやすいように、各ユニットに意見箱を設け、直接話しにくいことを伝える体制ができている。入所児童に説明するための子どもの権利ノートにも、意見を述べる方法が記載され口頭でも説明されている。また、日常生活の中で職員にふと漏らした言葉を拾い上げ、丁寧に対応している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし	

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。		
37	① 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
コメント	良い点/工夫されている点： 子どもの登下校中の安全確保に関するリスクマネジメントが、学校等との協議連携が取られ様々な配慮のもとに実施している。	
	改善できる点/改善方法： 児童の下校中の安全確保のための対策が、学校等との連携のもとに取られているが、その実効性について定期的に評価、見直しを行うことが望まれる。また、危機管理マニュアルについては、早急に見直し作業を完了させることが望まれる。	

## Ⅲ-2 養育・支援の質の確保

Ⅲ-2-(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		
40	① 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	a
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 自立支援計画書が適切に作成され、養育・支援の標準的な実施方法、その見直しをする仕組みが確立している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし	

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。		
42	① アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a
43	② 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： アセスメントが丁寧に行なわれ、それに基づき自立支援計画書が作成されている。また評価見直しも、マニュアルに沿って行われている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし	

Ⅲ-2-(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。		
44	① 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b
45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
コメント	良い点/工夫されている点： 特になし	
	改善できる点/改善方法： 子どもに関する記録は詳細に記入され、部門ごとに共有されているが、部門外の職員に共有されていないため、施設全体で子どもの情報を共有する仕組みづくりが望まれる。また、個人情報に関する研修を行い職員の理解を深めるとともに、子供や保護者に対する説明を行うことが期待される。	

## 【内容評価基準】

### A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

A-1-(1) 子どもの権利擁護		
A(1)	① 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 子どもの権利擁護に関するマニュアルが整備され、定期的に見直しを行っている。人権チェック表を使用した確認を年4回実施し、その結果を施設長が職員会議で報告をし、全職員で共有・検討することで、権利侵害の防止や早期発見に努めている。子どもの思想等の尊重について、子どもの権利ノートに明記し、子どもへ伝えている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし	

A-1-(2) 権利について理解を促す取組		
A(2)	① 子どもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 入所時及び必要に応じて子どもの権利ノートを活用しながら、子どもが権利について理解を深められるよう個別に説明している。子どもたちが主体となって話し合いをする「児童会」を通して、すべての子どもがかけがえのない大切な存在であることが伝わるように支援している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし	

A-1-(3) 生い立ちを振り返る取組		
A(3)	① 子どもの発達状況に応じ、職員と一緒に生い立ちを振り返る取組を行っている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 全ての子どもに個別のアルバムが用意され、子どもの状況に応じて職員が共に整理したり振り返りを行っている。さらに生い立ちの振り返りが必要な場合には、職員間で検討し、アルバム以外にも個別のライフストーリーを作成し、子どもに適切に伝えようと努めている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし	

A-1-(4) 被措置児童等虐待の防止等		
A(4)	① 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取組んでいる。	b
コメント	良い点/工夫されている点： 特になし	
	改善できる点/改善方法： 子どもに対して、不適切なかかわりを訴えることができるよう口頭での説明に留まらず、子どもが理解できるようわかりやすく説明した資料や掲示物の作成が望まれる。	

A-1-(5) 支援の継続性とアフターケア		
A(5)	① 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、不安の軽減を図りながら移行期の支援を行っている。	a
A(6)	② 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 入所前には担当職員や家庭支援専門相談員が子どもと面談し、入所日には子どもの好きな食事の献立にするなどして、温かく迎えられるよう努めている。退所後も施設に相談できる窓口（担当した職員や家庭支援専門相談員）があり、支援ができることを伝えている。また、長期休み中などに退所者が来所することもあり、職員等とのつながりが確保されている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

## A-2 養育・支援の質の確保

A-2 (1) 養育・支援の基本		
A⑦	① 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。	b
A⑧	② 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活をいとなむことを通してなされるよう養育・支援している。	a
A⑨	③ 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切に、子ども自身が自ら判断の生活を主体的に考え、営むことができるよう支援している。	a
A⑩	④ 発達の状況に応じた学びや遊びの場を保障している。	b
A⑪	⑤ 生活のいとなみを通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 生活の決まりは、子ども同士の話し合い（児童会）によって見直し、可能な限り子どもの希望や要望を尊重したものとなっている。また、子どもが自らの生活を主体的に考えることができるよう、子どもが毎月の目標を立てている。更に、社会生活を営む上で必要知識や技術を習得できるよう施設独自の職場体験を実施している。	
	改善できる点/改善方法： 子どもを理解する手段の一つとしてアンケートの定期的な実施が望まれる。また、子どもの年齢や発達、課題の状況に応じたプログラムを作成し、それに基づいた個別の養育が実施されることを期待する。	

A-2 (2) 食生活		
A⑫	① おいしく楽しみながら食事ができるように工夫している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 基本的にはユニットごとのダイニングが食事場所であり、子どもにとって身近な親しみのある場所となっている。食事中は、子どもたちと職員が互いに日々の情報を共有するなど、コミュニケーションの場となっている。食事中の子どもの反応などを毎日記録に残し、献立に反映できるよう努めている。毎月夕食やおやつ作りを子どもたちが行うことで、基礎的な調理技術の習得を目指している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし	

A-2- (3) 衣生活		
A⑬	① 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 担当職員や子ども自身が、季節ごとに衣服の種別（私服、学校関連、防寒着、パジャマなど）で状況（汚れ、サイズなど）を確認し、必要に応じて補充・購入している。購入時は、子どもに同行して季節や子ども自身の好みに応じられるよう支援している。洗濯やアイロンがけは各ユニットで行い、中学生以上は自分でできるように支援している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし	

A-2- (4) 住生活		
A⑭	① 居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるように子ども一人ひとりの居場所を確保している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 毎月職員が分担して施設内外の安全点検を行い、環境整備に努めている。基本的にすべての子どもが個室となっており、個別の居場所を確保している。土日には子どもたちと共に自室や共有スペースの清掃を行い、月に2回は（外も含めて）大掃除を行うことで、整理整頓等の習慣が身につくよう支援している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし	

A-2- (5) 健康と安全		
A⑮	① 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 毎日の検温と体調チェック、毎年の健康診断を行い、子どもの健康管理に努めている。服薬が必要な場合には、医療機関と連携しながら、お薬ボックスを活用する、職員が飲む場面を確認するなどして、飲み忘れや飲み間違いがないよう管理している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし	

A-2-(6) 性に関する教育		
A16	① 子どもの年齢・発達状況に応じて、他者の性を尊重する心を育てよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 年齢別（幼児・小学1～2年生、小学3～6年生、中学生）に性や命に関する知識や関心をもてるようなカリキュラムを作成し、個別や集団で活用している。必要に応じて、外部に医療機関の児童相談所、警察等から職員や子どもが助言をもらう機会を設けている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし	

A-2-(7) 行動上の問題及び問題状況への対応		
A17	① 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	a
A18	② 施設内の子ども同士の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	b
コメント	良い点/工夫されている点： 子どもの行動上の問題に対しては、心理士と連携・情報共有しながら日常的に支援し、必要に応じて児童相談所や警察等とも連携し、その未然防止や軽減に努めている。子どもの自室を癒しの場にしたたり、好きなものが入っている「落ち着きボックス」を活用したりして、生活が安定したものとなるように工夫している。	
	改善できる点/改善方法： 子ども間での暴力やいじめが発覚した場合を想定して、事実確認から施設長への報告などの手順や役割を明文化し、全職員が適切な対応ができる体制の整備が望まれる。	

A-2-(8) 心理的ケア		
A19	① 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	b
コメント	良い点/工夫されている点： 特になし	
	改善できる点/改善方法： 心理的ケアを必要とする子どもについては、自立支援計画に基づいた心理支援プログラムの策定が望まれる。	

A-2-(9) 学習・進学支援、進路支援等		
A20	① 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	a
A21	② 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	a
A22	③ 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 希望者に施設独自の職場体験（小学生以上）やアルバイト（高校生）ができる機会を設け、社会の仕組みやルール、金銭管理、人間関係への支援など通して、自立支援に取り組んでいる。	
	改善できる点/改善方法： 特になし	

A-2-(10) 施設と家族との信頼関係づくり		
A23	① 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 児童相談所と連携しながら、可能な限り面会や外出などを取り入れ、子どもと家族の継続的な関係づくりに取り組んでいる。家庭支援専門相談員が中心的な相談窓口になっており、家族への定期的な手紙や電話を通して学校等の行事を知らせるなど、子どもの様子を伝えている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし	

A-2-(11) 親子関係の再構築支援		
A24	① 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	b
コメント	良い点/工夫されている点： 特になし	
	改善できる点/改善方法： 家族療法の積極的な実施などを通して、家族との関係継続・修復、養育力の向上などへの取り組みが望まれる。	